

作物栽培管理情報

令和7年12月号
大分県中部振興局 生産流通部 集落営農・水田畠地化班

麦の栽培管理

◎麦踏みと土入れ

麦踏みと土入れは、麦作期間中の重要な作業です。

麦の生育状況や土の状態を見ながら、丁寧に・こまめに実施しましょう。

- ・麦踏み…早播きしたときや、暖冬年で生育量が過剰の時は1～2回多く行ってください。
- ・土入れ…生育過剰の際は回数を増やしてください。

	作業時期	作業回数	注意事項
麦踏み	麦の3葉期～茎立期	3～4回	作業は土が乾き、ローラーに土が付かない時に実施。
土入れ	麦の4葉期～茎立期	2回	作業は土が乾いたときに実施。 1回目は土を薄くかける。

麦踏みと土入れの効果

麦踏み



土入れ



- ・分けつ促進
- ・茎立ちを遅らせる
- ・耐寒性向上

- ・倒伏防止
- ・雑草抑制
- ・排水性強化

◎肥培管理～分けつ肥で穂数増加へ～

分けつ肥を散布することによって、穂数が増加し収量上につながります。

穂肥とは目的が異なるので、必ず分けて施肥しましょう。

【分けつ肥】

	作業時期	資材
小麦・大麦	麦の4葉期	化成肥料16-0-16 (15kg/10a)

※遅播の場合：施肥量20kg/10a



分けつ肥施用時期の麦

◎排水対策

近年、一度に多量の降雨が観測されるなど、気象が極端な状況が見受けられます。

多量の降雨のあとは、明きよの崩れや、排水口のつまりが起こりやすいので、しっかり点検して排水を改善してください。

- ・乾きのよいほ場を選ぶ
- ・本暗きよ
- ・額縁排水
- ・弾丸暗きよ
- ・畦立播種

麦の栽培管理で排水対策が最も重要な作業です！
作業可能日数が大きく変わるので確実に実施しましょう。

水稻の収量向上に向けた冬場の圃場管理

◎家畜ふん堆肥等有機物の施用

水田の乾田化による水稻などの单収向上に伴い、土壤中の有機物の消耗も多くなりました。冬季に空いている水田はもちろんのこと、消耗した有機物の消耗を補うため、家畜ふん堆肥を施用してください。

施用量の目安は、10aあたり牛ふん堆肥で1～2tです。堆肥は（少量でもよいので）毎年施用することで、地力維持につながります（数年に一度多量に施用するのはかえって土壤環境を悪化させるのでNG）。

◎麦生育期の牛ふん堆肥散布

堆肥散布可能時期拡大のための技術として麦生育期の牛ふん堆肥散布があります。

麦3葉期以降に牛ふん堆肥を2t/10a散布します。一時的に麦の生育障害がみられますが収量への影響はありません。

堆肥散布における注意点として、雑草種子の混入の可能性があるため必ず完熟堆肥を使用してください。また、散布は麦踏みが可能な程度に圃場が乾いた状態でおこない、降雨等による堆肥の流亡を防止するため土入れを実施してください。化成肥料は通常通り施用して問題ありません。

麦の増収だけでなく後作の水稻・大豆にも増収の効果があります。



※麦生育期の牛ふん堆肥散布技術の研究が掲載されています。
よろしければご覧ください。
(大分県水田グループ)

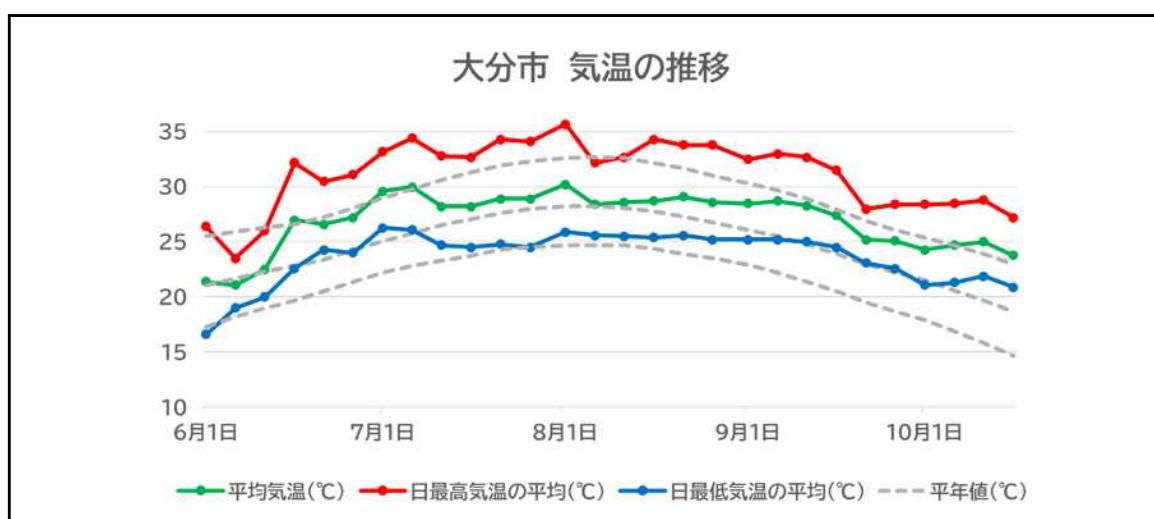
令和7年夏作の気象と今後の対応

令和7年夏作の気象は、梅雨が短く、6月下旬～9月中旬の期間高温が続きました。

8月4日に斑点米カメムシの注意報が発令され、9月に入り水稻において紋枯病が多発するなど、病害虫のまん延防止の対応に追われた方が多かったと思われます。

本年の反省を生かし、農業情報を細かくキャッチして適切な栽培管理により被害防止に努めてください。

病害虫の注意報や気象情報について農業情報メールを配信しておりますので是非ご登録のほどよろしくお願ひいたします。



農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

★ 登録方法 ★

配信受付（スマート申請システム）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/nougyouzyouhou>

上記のアドレスまたはQRコードからアクセスし、メールアドレス等の必要事項を入力してください。後日、農業情報をメール配信します。

